



Daiwa House®
Group

News Letter

2022年3月30日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 芳井 敬一
大阪市北区梅田 3-3-5

■暮らしを支える「生活インフラ」の整備拡大

データセンターブランド「DPDC（ディーププロジェクト・データセンター）」始動

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、今後の重点事業の一つとして、データセンター開発を位置づけていますが、2022年4月より、データセンターブランド「DPDC（ディーププロジェクト・データセンター）」を立ち上げ、さらなる開発を推進します。



「DPDC」ロゴ



「DPDC 印西パーク」イメージパース

（※パースはイメージのため実際とは異なる場合があります）

当社は、事業施設事業において、物流施設開発をはじめ、法人のお客さまのニーズに応じた施設建設などを積極的に進めています。近年では、「食」や「通信」などの生活インフラを支える事業も拡大しており、老朽化した公設卸売市場の建て替え支援事業や陸上養殖施設の建設など、多様化するニーズに対応した施設建設も手掛けています。

また、社会・産業のデジタル化の加速による「デジタルインフラ」の重要性が高まっており、政府・自治体や企業が保有する機密情報や個人情報を適切に管理するため、国内でのデータセンターに対する需要が増加しています。

こうした社会情勢を受け、当社では2020年10月より千葉県印西市にて日本最大級のデータセンターの開発プロジェクトに着手していますが、2022年4月より、本プロジェクトを「DPDC 印西パーク」とし、2025年までに14棟、総延床面積約330,000㎡の開発を進めます。

今後は、2025年までに1,000億円規模の投資を行い、国内数カ所においてデータセンター開発プロジェクトを展開する予定です。

データセンターブランド「DPDC」の始動により、データセンター開発の拡充を推進し、急速に変化する社会ニーズに対応すべく、暮らしを支える「生活インフラ」の整備を拡大します。



「DPDC 印西パーク」空撮（2021年11月撮影）
 （赤色枠：「DPDC 印西パーク」、黄色枠：「変電所」）

■ 「DPDC 印西パーク」概要

名称：「DPDC 印西パーク（ディーププロジェクト・データセンター・インザイパーク）」
 ※2022年4月より

所在地：千葉県印西市牧の台2丁目1-1他

交通：北総鉄道北総線「印西牧の原駅」から徒歩20分

総敷地面積：約270,000㎡（約82,000坪）

総延床面積：約330,000㎡（約100,000坪）

建設棟数：14棟（予定）

建物用途：データセンター

お客さま

お問い合わせ先：大和ハウス工業株式会社 東京本店建築事業部 TEL：03-5214-2200

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	東京広報グループ	03-5214-2112
	広報グループ	06-6342-1381